



New-Era®

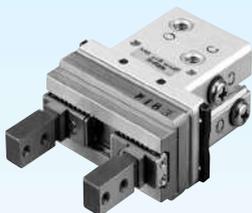
着脱式平行移動型リニアハンド

HP04DR/DL/DFRシリーズ

ワンタッチで爪の交換が可能なエアハンド。
工具レスで段取り替え!



HP04DL
ロングストローク



HP04DFR
フィンガータイプ



防塵カバー
(NBR、シリコン、フッ素)

HP04DFR シリーズ

形式表示記号

本体+ベアリングASSY

HP04DFR - 10 C ※ JN - HAE - ZE235 A 2

シリーズ名

呼び径

10: φ10
16: φ16
20: φ20

作動形式

C: 複動形

防塵カバー

JN: NBR
JS: シリコン
JF: フッ素

数量

リード線長さ

A: 1000mm
B: 3000mm



●ハンドアダプタ形式
無記号:ハンドアダプタ無し

HAE



HFE

HFE-L: 大径タイプ
(φ16のみ)



●詳細仕様→P.137

●スイッチ形式 無記号:スイッチ無し

ZE135

2線式無接点スイッチ、ストレート形

ZE155

3線式無接点スイッチ、ストレート形



ZE235

2線式無接点スイッチ、L形

ZE255

3線式無接点スイッチ、L形



●スイッチ詳細→P.579~586

本体ASSY

DB - HP04DFR - 10 C ※ HAE - ZE235 A 2

シリーズ名

本体ASSY

呼び径

10: φ10
16: φ16
20: φ20

作動形式

C: 複動形

数量

リード線長さ

A: 1000mm
B: 3000mm



●ハンドアダプタ形式
無記号:ハンドアダプタ無し

HAE



HFE

HFE-L: 大径タイプ
(φ16のみ)



●詳細仕様→P.137

●スイッチ形式 無記号:スイッチ無し

ZE135

2線式無接点スイッチ、ストレート形

ZE155

3線式無接点スイッチ、ストレート形



ZE235

2線式無接点スイッチ、L形

ZE255

3線式無接点スイッチ、L形



●スイッチ詳細→P.579~586

ベアリングASSY

防塵カバーのみ

DG - HP04DFR - 10 ※ JN

ベアリングASSY

呼び径

10: φ10
16: φ16
20: φ20

防塵カバー

JN: NBR
JS: シリコン
JF: フッ素

シリーズ名

JN - 04FR 10

防塵カバー

JN: NBR
JS: シリコン
JF: フッ素

呼び径

シリーズ名

(HPO4FR同等)



仕様

	10	16	20
作動形式	複 動 形		
ベアリング着脱方法	手 動		
呼び径 [mm]	φ10	φ16	φ20
開閉ストローク [mm]	6.5	10	14
使用流体	空 気		
使用圧力 [MPa] ()内は、防塵カバー装着時	0.2~0.7 (0.25~0.7)	0.1~0.7 (0.15~0.7)	
耐 圧 [MPa]	1.05		
使用頻度 [Cycle/min]	120		
使用温度 [°C]	0~60 (凍結無き事)		
給 油	不要		
配管接続口	M3×0.5	M5×0.8	
スイッチ	ZE形 (無接点スイッチ)		
質量 [g]	95 -JN: 99.5 -JS: 99 -JF: 101.5	185 -JN: 191.5 -JS: 191 -JF: 194.5	370 -JN: 382.5 -JS: 380 -JF: 388.5
センタリング精度 [mm]	±0.07		
繰返し把持精度 [mm]	±0.01		
繰返し着脱精度 [mm] (センタリング精度)	0.05		

作動形式	形 式	シリンダ 内径 [mm]	最低使用圧 [MPa] ()内は、 防塵カバー装着時	開閉 ストローク [mm]	把持力※1 [N]		外形寸法 (厚×幅×長) [mm]
					閉時	開時	
複動形	HP04DFR-10C	10	0.2 (0.25)	6.5	10	16	20×40×67.5
	HP04DFR-16C	16	0.1 (0.15)	10	29	38	25×55×77
	HP04DFR-20C	20	0.1 (0.15)	14	49	66	32×66×97

※1) 表記の把持力は開閉ストロークの中継位置における、把持点L=30mm、印加圧力0.5MPaの場合の実効値です。
極端に短いストロークでの使用におきましてはガイドの油切れにより動きが悪くなる事があります。

許容運動エネルギー

ベアリングの連結保持部に過度の衝撃が加わるとベアリングが脱落する恐れがあります。
使用する際は、爪の質量、ワークの質量、ハンドの揺動速度、振動に気を付けてください。

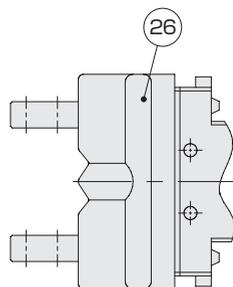
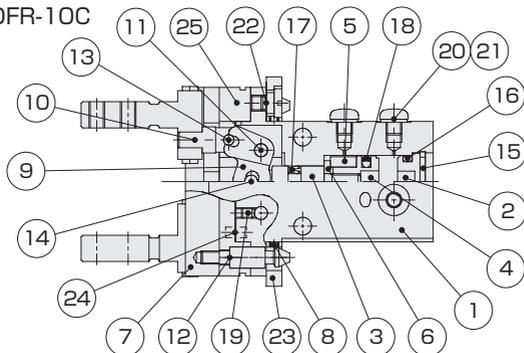
爪の質量、運動エネルギーは以下の規格値以下に設定して下さい。

サイズ	爪の質量 [g]	許容エネルギー [mJ]
φ10	50	3.5
φ16	100	9.5
φ20	150	75

HP04DFRシリーズ

内部構造図

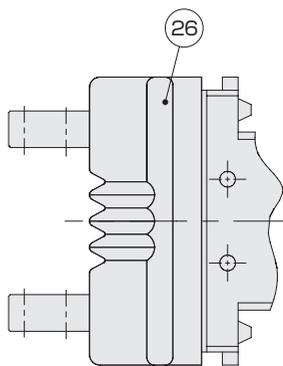
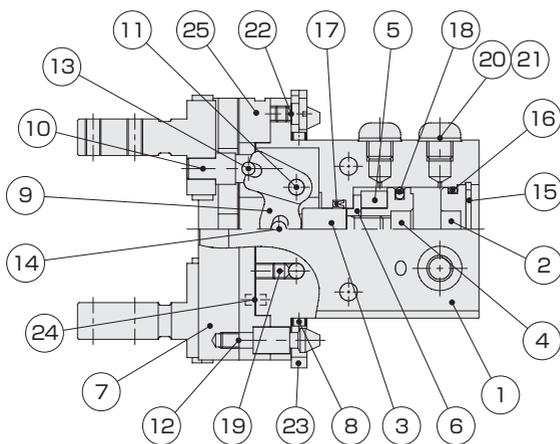
HP04DFR-10C



防塵カバー付

HP04DFR-16C

HP04DFR-20C

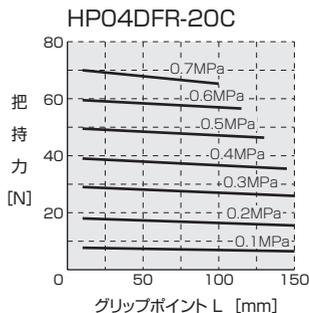
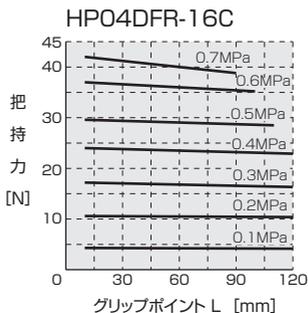
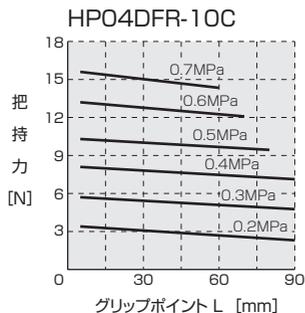


部品リスト

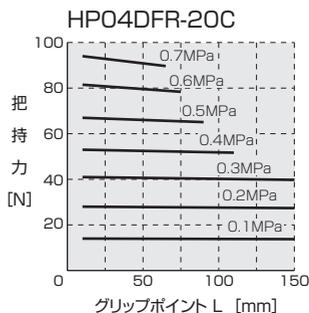
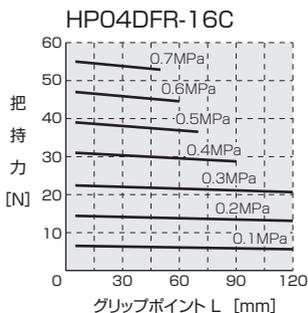
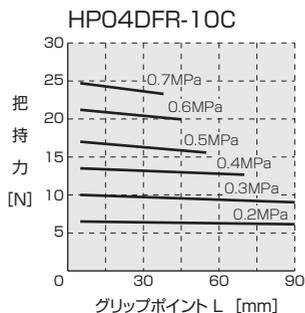
NO	名称	材質	NO	名称	材質
1	本体	アルミ合金	15	穴用止め輪	鋼
2	ヘッドカバー	アルミ合金	16	Oリング	NBR
3	ピストンロッド	ステンレス鋼	17	ロッドパッキン	NBR
4	ピストン	アルミ合金	18	ピストンパッキン	NBR
5	マグネット	磁性体	19	六角穴付小ネジ	鋼
6	オサエカバー	アルミ合金	20	プラグ	ステンレス鋼
7	リニアガイド	鋼	21	ガスケット	鋼、NBR
8	スプリング	ピアノ線	22	スリ割り小ネジ	ステンレス鋼
9	アクションレバー	鋼	23	ストッパ	ステンレス鋼
10	ナックル	ステンレス鋼	24	逆組防止ピン	鋼
11	支点ピン	鋼	25	ブラケット	アルミ合金
12	ピン金具	ステンレス鋼	26	防塵カバー	JN : NBR
13	ナックルピン	鋼			JS : シリコンゴム
14	ロッドピン	鋼			JF : フッ素ゴム

実効把持力

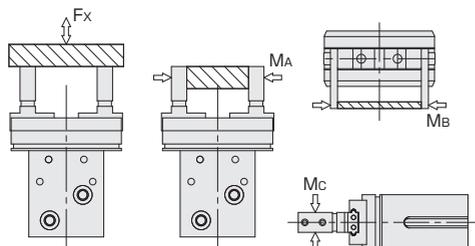
閉力(複動形)



開力(複動形)



許容荷重及び許容モーメント

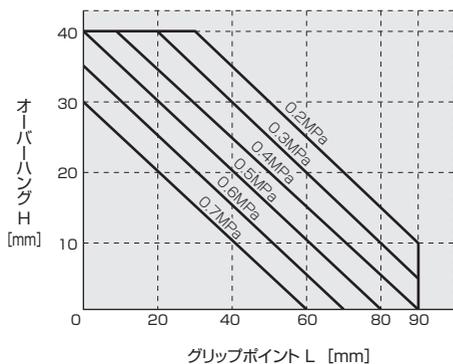


形式	荷重及びモーメント	Fx [N]	MA [N·m]	MB [N·m]	Mc [N·m]
HP04DFR-10		50	0.4	0.4	0.4
HP04DFR-16		120	1	1	1
HP04DFR-20		200	1.5	1.5	1.5

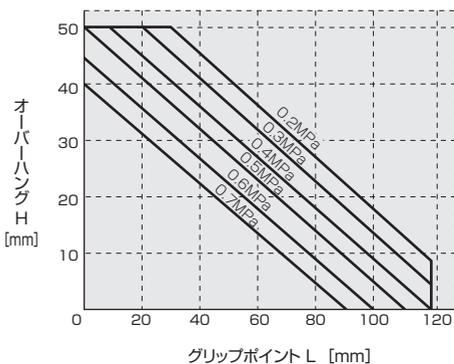
HP04DFRシリーズ

■グリップポイント制限範囲

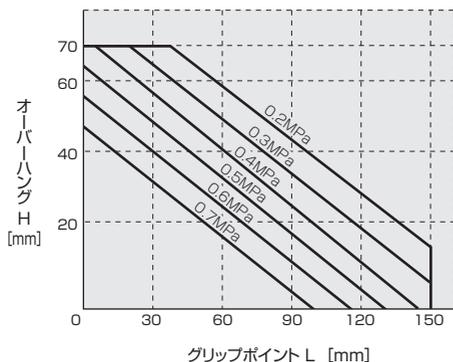
HP04DFR-10



HP04DFR-16



HP04DFR-20

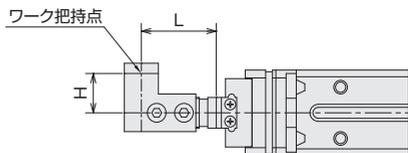


●アタッチメントの取付けについて

レバーに取付けるアタッチメントの把持点の距離グリップポイントL、オーバーハング量Hは、上表の範囲内としてください。制限範囲を超えるとガイド部に過大なモーメントが加わり、フィンガのガタの発生など寿命や精度に悪影響を及ぼす原因となります。また、制限範囲内であっても、アタッチメントは、できるだけ小型、軽量にしてください。

●ワーク質量に対する機種選定の目安

アタッチメントとワークとの摩擦係数、形状によって異なりますが、通常、実効把持力の5~10%又は、それ以下を目安としてください。また、ワーク搬送時に大きな加速度、衝撃が作用する場合、さらに余裕を見込む必要があります。



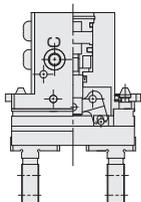
ベアリング着脱方法

分離方法(例)

STEP.1

エア排気

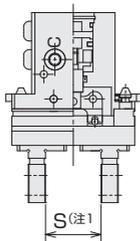
開(閉)ポートよりシリンダ内部に供給しているエアを排気します。



STEP.2

着脱位置

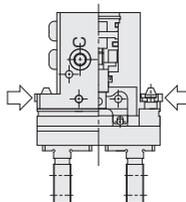
レバーを外力等で所定の位置に移動させます。これによりアクションレバーが鉛直状態となります。



STEP.3

連結解除

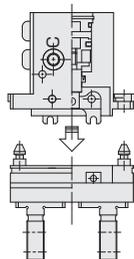
ストッパを外力等で押込みます。これにより金具がフリーの状態になります。(注2)



STEP.4

分離

ベアリングを取り外します。



[mm]

型 式	HP04DFR-10	HP04DFR-16	HP04DFR-20
S	16.6	22.6	30

注1) 着脱位置の寸法Sの目安は製品サイズによって異なります。左表をご参考下さい。

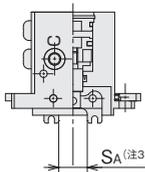
注2) レバーを鉛直下向きに取付けて使用している場合にピン金具をフリーの状態にすると、レバー部の自重でベアリングが落下する恐れがありますので、十分に注意して解除を行って下さい。

装着方法(例)

STEP.1

着脱位置

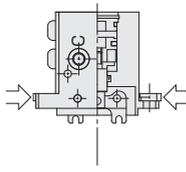
ベアリング部を分離した状態とします。



STEP.2

装着待機

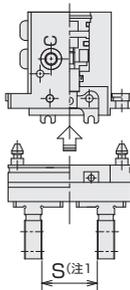
ストッパを外力等で押込みます。



STEP.3

装着

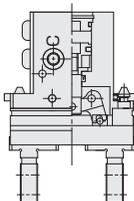
ストッパを押込んだ状態のまま、レバーがSAの状態でもベアリングを装着します。



STEP.4

保持

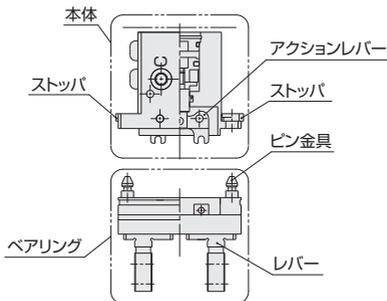
ストッパを開放することで、ベアリングを保持します。



[mm]

型 式	HP04DFR-10	HP04DFR-16	HP04DFR-20
SA	7	11.6	16

部品の名称について



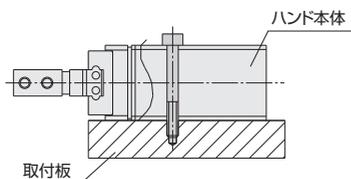
HP04DFRシリーズ

本体取付方法

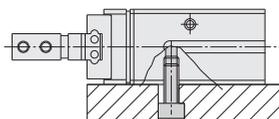
取付例

1 本体の通し穴を使用した場合

(この場合、スイッチ取付不可)



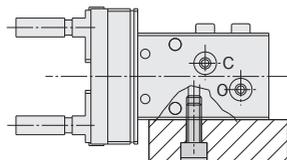
2 本体裏面のネジを使用した場合



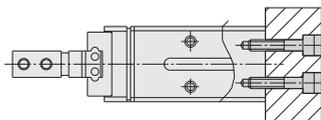
機種	使用ボルト	最大締付トルク [N・m]
φ10	M3×0.5	0.59
φ16	M3×0.5	0.59
φ20	M4×0.7	1.37

機種	使用ボルト	最大締付トルク [N・m]
φ10	M4×0.7	1.37
φ16	M4×0.7	1.37
φ20	M5×0.8	2.84

3 本体側面のネジを使用した場合



4 本体底面のネジを使用した場合

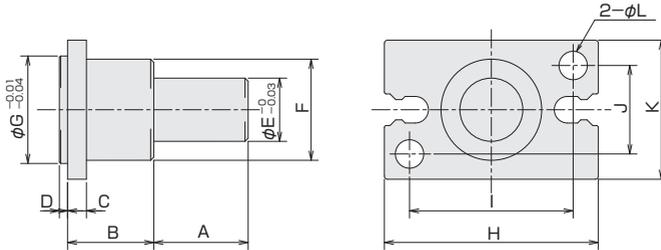


機種	使用ボルト	最大締付トルク [N・m]
φ10	M3×0.5	0.59
φ16	M4×0.7	1.37
φ20	M5×0.8	2.84

機種	使用ボルト	最大締付トルク [N・m]
φ10	M3×0.5	0.59
φ16	M4×0.7	1.37
φ20	M5×0.8	2.84

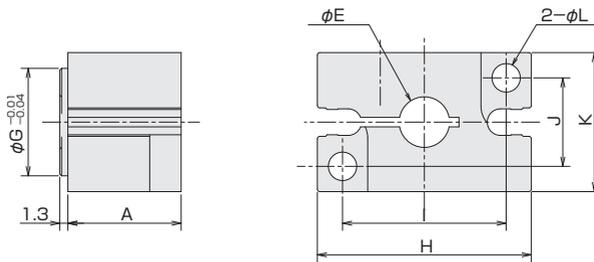
■ ハンド用アダプタ外形寸法図

HAE形



形式	記号	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	付属ボルト(2個)	製品重量[g] (ボルト含む)
HAE-10		15	15	3	1.3	10	11	11	23	17	10	16	3.4	M3×0.5×8 ^L	11
HAE-16		15	15	3	1.3	10	16	17	34	26	14	22	4.5	M4×0.7×10 ^L	20
HAE-20		15	15	3	1.3	10	18	21	45	35	16	26	5.5	M5×0.8×10 ^L	28

HFE形

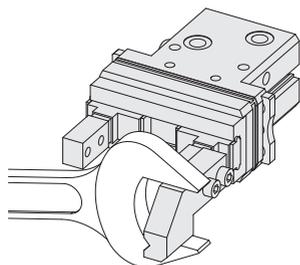


形式	記号	A	E	G	H	I	J	K	L	付属ボルト(3個)		製品重量[g] (ボルト含む)
										ハンド取付(2個)	アダプタ固定(1個)	
HFE-10		15	6	11	23	17	10	16	3.4	M3×0.5×16 ^L	M3×0.5×12 ^L	14
HFE-16		18	8	17	34	26	14	22	4.5	M4×0.7×20 ^L	M4×0.7×16 ^L	35
HFE-16L		18	10	17	34	26	14	22	4.5	M4×0.7×20 ^L	M4×0.7×16 ^L	33
HFE-20		19	13	21	45	35	16	26	5.5	M5×0.8×20 ^L	M5×0.8×20 ^L	55

HP04DFRシリーズ

■アタッチメント設計方法

アタッチメント取付方法

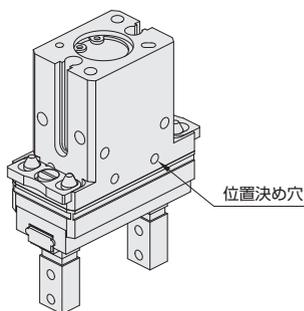


アタッチメント（爪）を取り付ける際は、レバー部に負荷がかからないようにアタッチメントをスパナ等で支えて行って下さい。

機種	使用ボルト	最大締付トルク[N・m]
φ10	M3×0.5	1.14
φ16	M3×0.5	1.14
φ20	M4×0.7	2.7

位置決め穴について

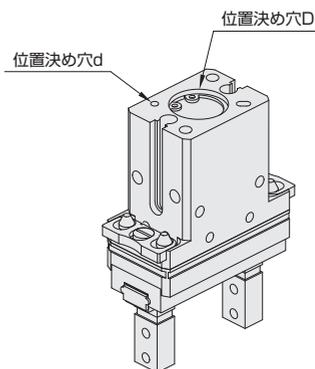
取付例1、2 (P.136) の場合の位置決め穴



取付例1、2のように取付ける場合の位置決めにご使用下さい。

機種	位置決め穴
φ10	φ2.5 ^{+0.02} 深さ2.5
φ16	φ3 ^{+0.02} 深さ3
φ20	φ4 ^{+0.02} 深さ3.5

取付例4 (P.136) の場合の位置決め穴

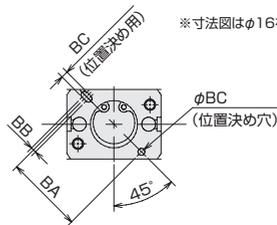
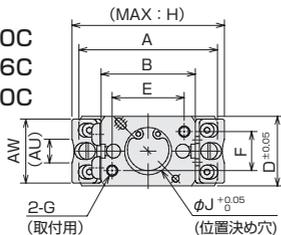


取付例4のように取付ける場合の位置決めにご使用下さい。

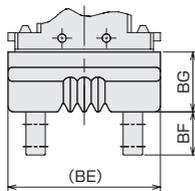
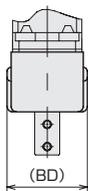
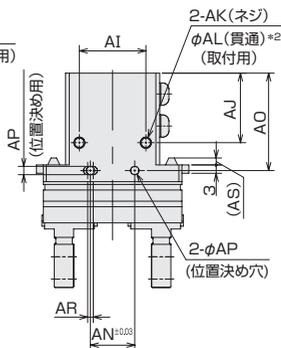
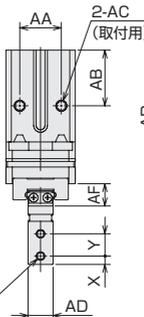
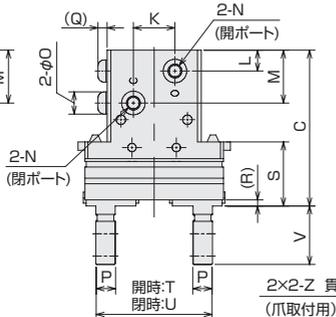
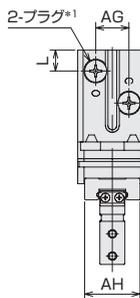
機種	位置決め穴D	位置決め穴d
φ10	φ11 ^{+0.05} 深さ1.5	φ2 ^{+0.04} 深さ2
φ16	φ17 ^{+0.05} 深さ1.5	φ2.5 ^{+0.04} 深さ3
φ20	φ21 ^{+0.05} 深さ1.5	φ3 ^{+0.04} 深さ3

外形寸法図

HPO4DFR-10C
HPO4DFR-16C
HPO4DFR-20C



※寸法図はφ16を使用しています



防塵カバー付

注記

- *1) エアポートは2面に設けてありますので、取付状態に応じて選択してご使用ください。
- *2) 貫通穴を用いて本体を取付ける場合、開閉センサの取付ができませんのでご注意ください。

形式	記号	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	O	P
HPO4DFR-10	36	23	49	20	17	10	M3×0.5 深さ6	41	11	深さ1.5	7	7.5	17	M3×0.5	5.5	5
HPO4DFR-16	50	34	56	25	26	14	M4×0.7 深さ7	56	17	深さ1.5	15	7.5	19	M5×0.8	8	7
HPO4DFR-20	62	45	67	32	35	16	M5×0.8 深さ9	68	21	深さ1.5	17	7.5	21	M5×0.8	8	8

形式	記号	Q	R	S	T	U	V	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD
HPO4DFR-10	2.4	1.5	20	30.0 ^{+1.5} ₀	24.1 ⁻⁰ _{0.0}	18.5	3	6	M3×0.5	12	20	M3×0.5 深さ5	7 ^{-0.04} ₀	
HPO4DFR-16	3.2	2.2	23	41.0 ^{+0.5} ₀	31.5 ⁻⁰ _{0.0}	21	3	8	M3×0.5	15	20	M4×0.7 深さ6	9 ^{-0.04} ₀	
HPO4DFR-20	3.2	3	26.5	52.0 ^{+0.9} ₀	38.8 ^{-1.6} ₀	30	4	10	M4×0.7	18	24	M5×0.8 深さ8	12 ^{-0.05} ₀	

形式	記号	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AN	AO	AP	AR	AS	AU	AW	BA
HPO4DFR-10	6	9	17	17	25	M4×0.7 深さ6	3.4	12	33	2.5 ^{+0.02} ₀ 深さ2.5	1	1.5	9	18.4	20	
HPO4DFR-16	8	12	20	24	25	M4×0.7 深さ6	3.4	16	35	3 ^{+0.02} ₀ 深さ3	2	2.5	9	23	28	
HPO4DFR-20	10	16	27	30	30	M5×0.8 深さ8	4.2	22	39.7	4 ^{+0.02} ₀ 深さ3.5	2	2.5	10	28	34	

形式	記号	BB	BC	BD	BE	BF	BG
HPO4DFR-10	1	2 ^{+0.04} ₀ 深さ2	27	44	13	18.5	
HPO4DFR-16	2	2.5 ^{+0.04} ₀ 深さ3	32	59	15.5	21.5	
HPO4DFR-20	2	3 ^{+0.04} ₀ 深さ3	42	71	20	28.5	

着脱式平行移動形リニアハンド(フィンガ)長爪タイプ

HPO4DFRシリーズ

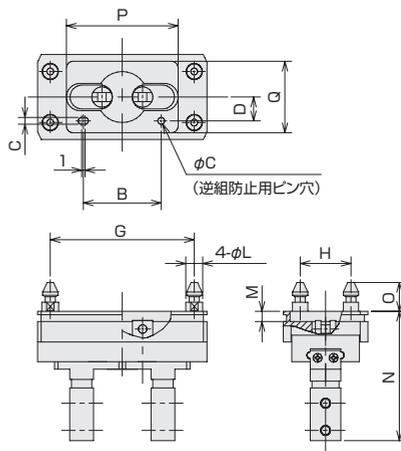
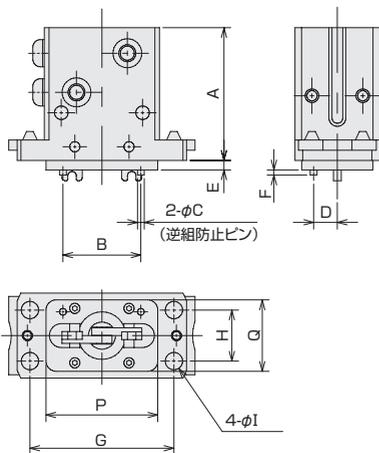
HP04DFRシリーズ

外形寸法図

※寸法図はφ16を使用しています

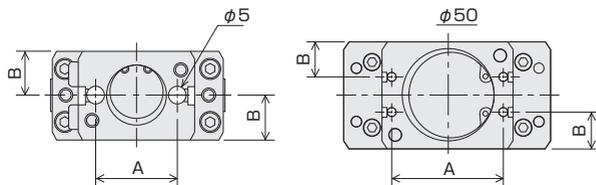
DB-HP04DFR-10C
DB-HP04DFR-16C
DB-HP04DFR-20C

DG-HP04DFR-10
DG-HP04DFR-16
DG-HP04DFR-20



形式	記号	A	B	C	D	E	F	G	H	I	L	N	O	P	Q
HP04DFR-10		35	15.4	1.5	4.5	2.8	1	29	13	4	3.8	32.5	7.5	23	16
HP04DFR-16		39	23	2	7	2.8	1.5	42.5	15	5	4.8	38	8.5	33	21
HP04DFR-20		46.5	31	2.5	9	2.8	2	54	20	5	4.8	50.5	8.5	44	27

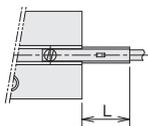
■スイッチ用ミゾ寸法



記号	サイズ	10	16	20
A		17	24	30
B		10	12.5	16

■スイッチの飛出し量

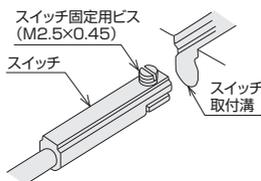
スイッチのボディ端面からの最大とび出し量（レバー全閉時）は、下表のとおりです。取付け時などの目安にしてください。



シリンダ内径 (mm)	φ10	φ16	φ20
最大飛出し量 (mm)	0	0	0

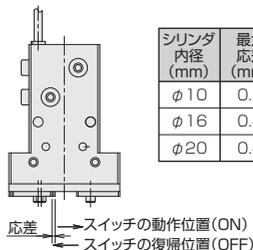
■スイッチの取付け

スイッチをスイッチ取付溝に差し込みます。取付位置設定後、時計ドライバを用い、スイッチ固定用ビスを締付けてください。締付けトルクは、0.1N・m以下としてください。



■スイッチの応差

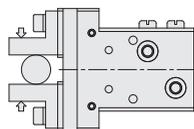
レバーが移動してスイッチがONした位置から、逆方向に移動してOFFするまでの距離を応差といいます。



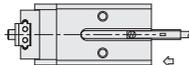
シリンダ内径 (mm)	最大応差 (mm)
φ10	0.3
φ16	0.4
φ20	0.4

■スイッチ取付位置調整方法

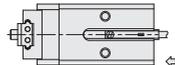
外径把持の場合



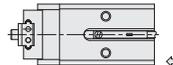
①フークの外径把持及び全開を確認します。



②スイッチを本体のスイッチ取付溝に矢印方向へ入れます。

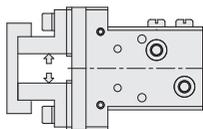


③矢印方向へスイッチを入れるとLEDが点灯します。

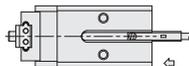


④③の点灯する位置から更に矢印方向へ0.6ミリ移動した所で、スイッチ固定用ビスにより固定させます。

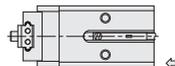
内径把持の場合



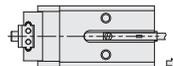
①フークの内径把持及び全開を確認します。



②スイッチを本体のスイッチ取付溝に矢印方向へ入れます。



③矢印方向へスイッチを入れるとLEDが点灯し更に移動すると消灯します。



④③矢印方向（逆）に戻すとLEDが点灯した所より更に0.6ミリ移動した所でスイッチを固定させます。

①はスイッチONを確認したい位置を表しています。①～④の順に調整し取付けてください。

